

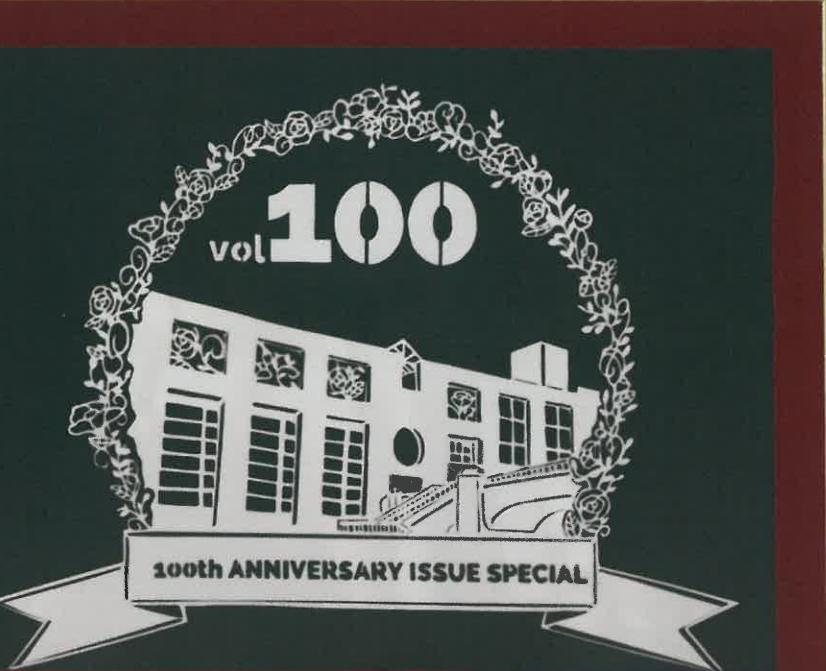
R

2017 SUMMER Vol.100

ROSE THEATRE
ART INFORMATION
OF FUJICITY
CULTURE MAGAZINE
ROSE

ROSE

文化情報誌
ロゼ



ガルタハガタル
潤井川かるたの小径から

INTERVIEW
中村 雅俊

Pickup Artist

100号記念特集
残間 里江子 × 石島 章彦

ロゼのオフ

Passage Point
創刊から100号まで、四半世紀の歩みをたどる

理事長 丸茂 淳祥
文化情報誌「ロゼ」100号を記念して

EVENT CALENDAR 2017

特集 ロゼ・クラシックカフェ

Flash Back

INFORMATION FROM ROSE THEATRE

ROSE

■文化情報誌 ロゼ 2017年 6月発行 (第100・夏号)

■発行／公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 富士市蓼原町1750番地 TEL(0545)60-2510 ■企画・編集・製作／公益財団法人富士市文化振興財団 株式会社アドシップ

ROSE
THEATRE



百敷や古き軒端の
なほあまりある
しのぶにも

順徳院

(説)宮中の古びた軒に生えるしのぶ草を見るにつけ、
しのんでもしのびづくせないほど思いが募る古きよき時代のことよ。

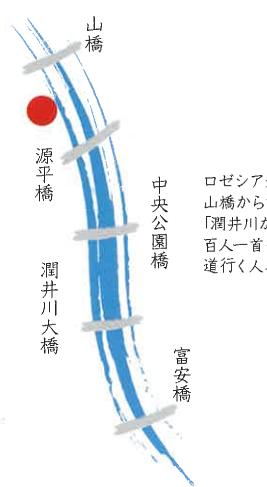
百人一首は、奈良時代から鎌倉時代の約六百年間に作られた和歌
から、歌人藤原定家が百首を選びまとめたものです。順番は、一番から
九十六番までは作者の没年順ですが、九十七番以降は、編纂時、
定家自身を含め存命であったため、官位順です。そして本作順徳院
の歌が百番目です。



順徳院・後鳥羽院の陵墓（京都市左京区大原）

順徳院は、一二二二年、父後鳥羽院とともに鎌倉幕府打倒を企て、
承久の乱を起こします。しかしこの倒幕計画は失敗し、順徳院は佐
渡に流され、再び都に帰ることはありませんでした。本作が詠まれ
たのは、承久の乱より前のことです。鎌倉幕府の誕生以後、勢力を拡
大する武士に対し、朝廷の権威は失墜しました。この歌には、貴族の
没落に対する嘆きや、かつて栄華を誇った宮中を懐かしむ作者の
心情が込められています。

百敷とは、内裏や宮中を意味する言葉。数多くの石や木で築かれる
ことからこのように呼ばれます。巻末の百番歌にちなみこの言葉を
引いたのでしょう。六百年にわたる歌絵巻の結びは、貴族社会の終焉
を物語るセンチメンタルな一首です。



順徳院
(じゅんとくいん 1197~1242年)
後鳥羽天皇の第三皇子。第84代天皇。
父とともに承久の乱を起こすが失敗。
佐渡に流され崩御。

俳優 中村 雅俊

テレビドラマ、映画、舞台、音楽活動と長年に渡り多才なご活躍をされていて、
2017年10月に舞台「ミッドナイト・イン・パリ～史上最悪の結婚前夜～」に
ご出演の中村雅俊さんにお話を伺いました。

PROFILE

中村 雅俊

1951年2月1日 宮城県女川町に生まれる。
1970年4月 慶應義塾大学経済学部に入学。
1973年 大学在学中に文学座附属演劇研究所に入所。
1974年4月 NTV「われら青春！」の主役に抜擢されデビュー。
同年7月 挿入歌「ふれあい」で歌手デビューし100万枚突破。

今までに連続ドラマ34本を含め、主演作品は100本以上。歌手としてもコンスタントに曲を発表し、デビューから毎年行う全国コンサートも1400回を超える。現在、俳優と歌手の両分野で活躍中。



Contents

● カルタハカルタル

潤井川かるたの小径から

①

● INTERVIEW

中村雅俊

②

● Pickup Artist

新進アーティスト作品展vol.15

Art Generation 2017

優秀賞受賞 中田 真生

⑤

● 100号記念特集

残間 里江子 × 石島 章彦

⑦

● 口ゼのオカレ

Passage Point

創刊から100号まで、四半世紀の歩みをたどる

⑨

● 理事長 丸茂 澄祥

文化情報誌「口ゼ」100号を記念して

⑫

● EVENT CALENDAR 2017

⑯

● 詩集 口ゼ・クラシックカフェ

素顔の大作曲家たち 第17回

聖母ベートーヴェンも愛した甘~いワインの秘密

⑯

● Flash Back

⑰

● INFORMATION FROM ROSE THEATRE

◆お知らせ

◆チケット購入方法

◆ふじ紙のアートミュージアム

◆レストラン「ロゼトラス」

◆プレゼントクイズ

◆休館日のお知らせ

◆編集後記

⑱

慶應大学経済学部のご出身ですが、子どもの頃から俳優や歌手という職業に興味はあったのでしょうか。

いや、なかつたんですよ。大学に入つた当初は外交官を目指していくで、英語が話せないといけないということで英会話クラブに入りました。そこでは、ディベーター、スピーチ、ディスカッション、ドラマという四つのセクションがあつて、私は

中学高校とバスケットボール一筋だったのですが、なんとなく英語劇、ドラマセクション選びました。当時は一橋、早稲田、慶應立教の四大学で英語劇のコンペがあり、各大学が優勝目指してすごく頑張っていたんです。それまでお芝居をしたことが無かつた私は、三年の時に初めてキャストになりました。その時、心中で燃えるものは感じたんですけど、英語でお芝居をすることがどうも合わない(笑)。そこで、親友と純粋にお芝居をやってみたいという話になりました。

そこから実際に俳優の道に?

当時の劇団でトップ3と言われていた文学座、民藝、俳優座の中で毎年試験のあった文学座研究生の試験を受けたんです。その試験の倍率は四十倍以上で、慶應に入ることより難しいと感じたんですけど、なんとか合格できました。それから、文学座に研究生として通い始めなんですが、出席率は大学

生の舞台の魅力はどんなところでしょう。

映画やドラマと違つて、目の前にお客様さんがいる舞台は緊張感が違いますよね。同じ動き、同じセリフを言つても毎日少しづつ変化がある。いま、まさにそこでやつてているという現実みたいなものが感じられる醍醐味。私は歌手もやらせてもらつてるので、コンサートの方が良いかななんて思う事もありますが、やっぱり生の舞台は充実感、達成感がありますね。

静岡での思い出はありますか。

一九七四年に出した「ふれあい」という曲が、オリコンチャートで十週間一位になり、コンサートツアーをやることになったんです。その記念すべき第一回目のコンサートが静岡でした。それも、静岡駿府会館という大きな会場。初めてのコンサートでしたが、MCの内容は私任せられていましたので、話しているうちにかなり時間が伸びてしまいましてね。翌日が大阪での二回公演だったんで、その日のうちに新幹線移動をして、何かおかしくなり、私が紹介した曲と違う曲をバンドメンバーが演奏始めたんですね。バンドメンバーには曲をカットする指示が出ていますね。さらにアンコールの

お休みの日などはどの様にお過ごですか。

「ふれあい」では間奏で緞帳が下がってきたんです。そしたらマネージャーが私の荷物を全部持つて「雅俊、時間ないぞ行くぞ!」って言つて舞台に出てきたんです。それでも間奏明けで「♪何気ない♪」って歌い出したら、緞帳が上がつてしまい、荷物を持つたマネージャーがステージ上に残つたまま。(笑)その日のコンサートの事は今でも思い出しますね。

最後に、公演を楽しみにしている方、本誌読者の方へのメッセージをお願いします。

ずっと続いているのはゴルフやウォーキング、ジムでのトレーニングですね。それから、以前はビデオ編集に凝っていました。自分で撮影したオーディオ映像を自分で作ったり、スタッフが結婚した時には二〇分以上の動画編集をしたこともあります。二〇分の動画編集は結構大変でした(笑)。

静岡での一回目のコンサートから始まり、今年あと五回のコンサートを行なうと千五百回を迎えます。そして第一線でご活躍されていますね。

普通に歌つていたんですが、途中から何かおかしくなり、私が紹介した曲と違う曲をバンドメンバーが演奏始めたんですね。さらにアンコールの

今回の『ミッドナイト・イン・パリ』という舞台はコメディーで、お調子者の役を演じられるということで、あまりイメージが湧かないのですが、ご自身ではどうお考えですか。

実はお調子者の部分もあるんです。ただ世間の私に対するイメージとは違った部分なんですよ。すごく楽しみにしてます。

背負つて同じ部屋にいる脚本の岡田(恵和)さんは本当に良い本を書きますね。

ています。私はグループサウンズの元メンバーという設定で、(溝端)淳平の親父役を演じます。最初は調子よく登場するんですけど、後半はしんみりとする部分があつて、特に私と浅田(美代子)さんの関係は泣けますよ。コメディーなんだけどただ笑わせるだけじゃなくて、四人それぞ

れが色々なものを

背負つて同じ部屋

にいる脚本の岡

田(恵和)さんは

本当に良い本を書きますね。

公演情報

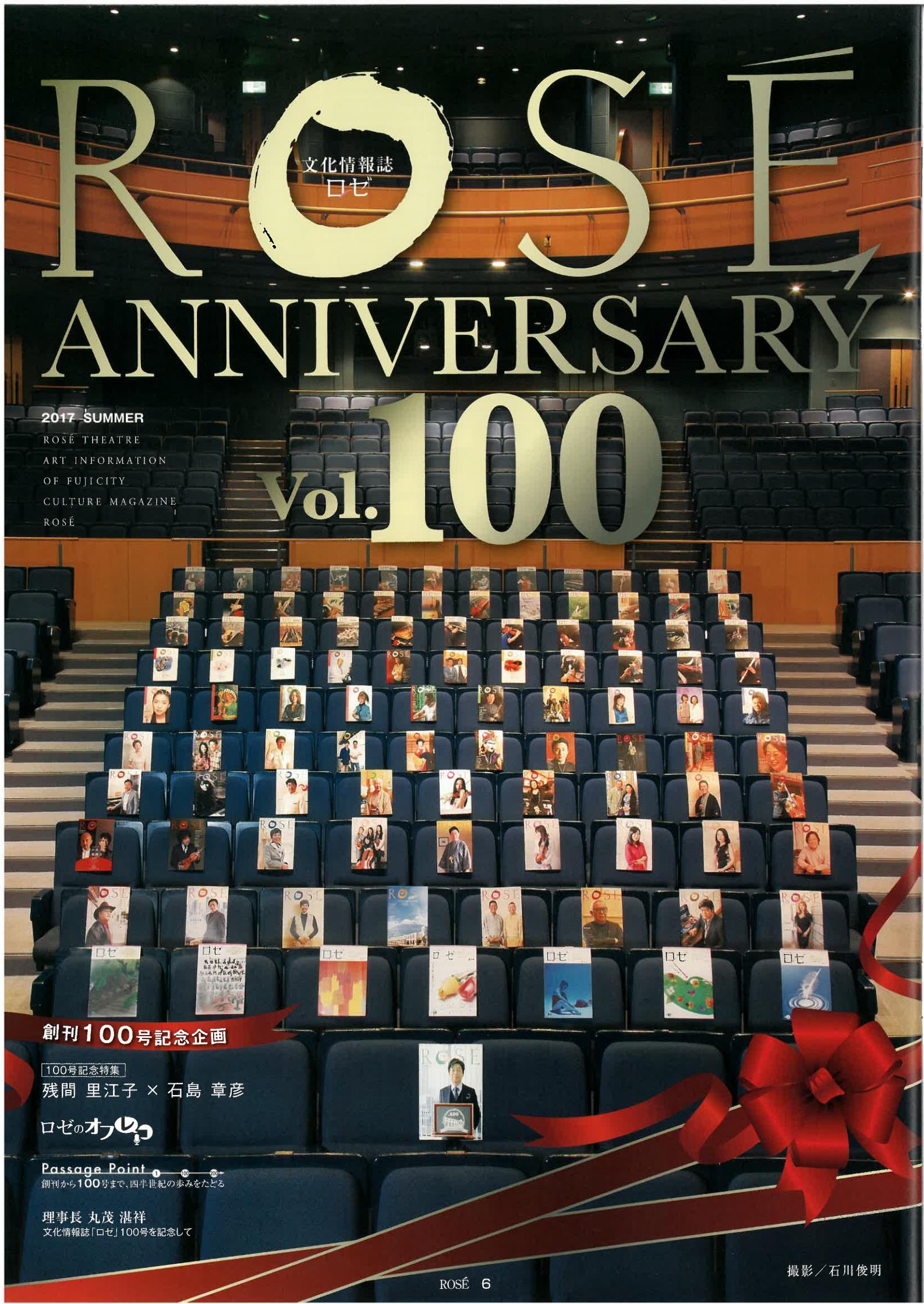
ミッドナイト・イン・パリ ~史上 最悪の結婚前夜~

パリでの結婚式を翌日に控える男女4人が織りなすハイスピード毒舌ラブコメディ!



出演／栗山千明、溝端淳平、浅田美代子、中村雅俊
荻野清子(ピアノ)、阿部寛(ギター)、藤井珠緒(ハーモニカ)
脚本／岡田恵和(2017年NHK連続テレビ小説「ひよこ」)
演出／深川栄洋(映画「神様のカルテ」シリーズ)
音楽／荻野清子(映画「ステキな金縛り」、舞台「ショーガール」)

2017年10月3日(火) 大ホール
開場／18:30 開演／19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席／7,000円 2階席／6,000円 ※未就学児入場不可
チケット発売日／[Web]7月6日(木)・[窓口]7月7日(金)



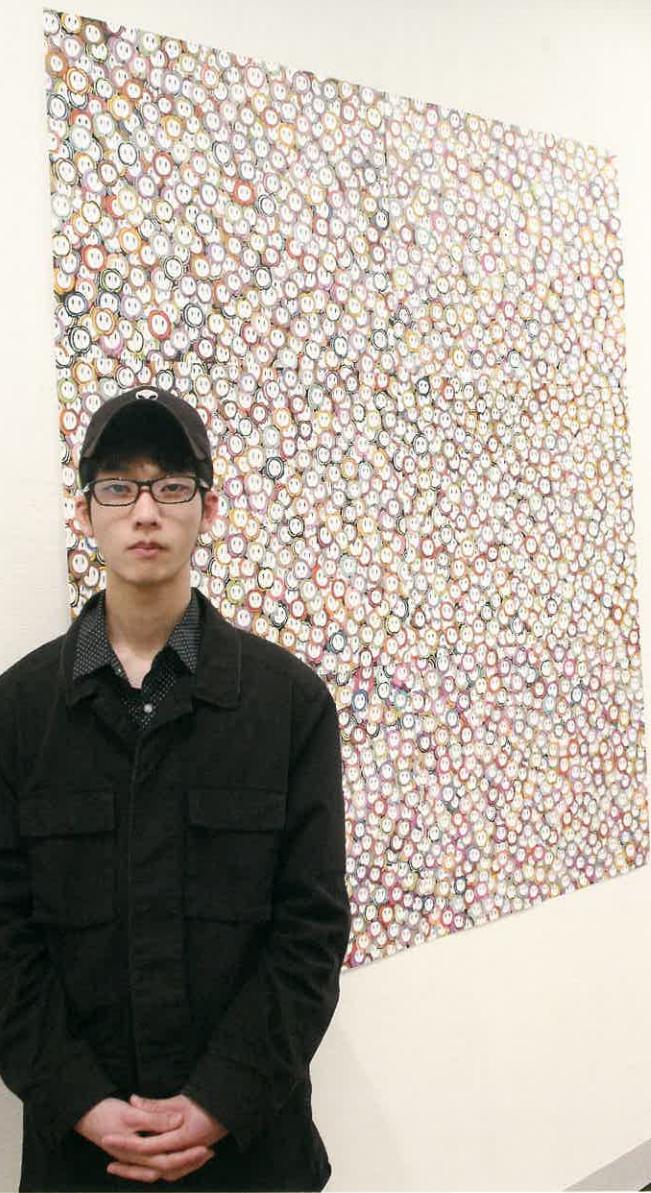
受賞作品について

暇な時に描いた顔のようなものが原型で、たまたまそれが何回も繰り返し描くことができたので、今回の作品のようになりました。6枚の紙を繋げて150cm×150cmのサイズにしていますが、実はあの前にすでに6枚描いています。少しずつ変化して、行き着くところまで行つてこの完成形になりました。理屈は全部後付になりますが、見る人によってはどれも同じだと思うが、または「一つ違う」と思う人もいるかもしれません。とにかく僕は描くことが好きで…そういうでなければこのような作品はできません。

自身にとつて「描く」とは
描くことは好きです。だからと言って、デッサンができるわけではありません。高校の時、美術コースに入りましたが途中で辞めてしましました。「上手に描けないから」「上手な絵を描こうと努力をする気がないから」どれも言い訳になりますが、僕は「上手に絵を描けなくてもいい」と思つてやつています。

大学生活について

アートではないですが「情報デザイン」の勉強をしています。1年生では、データから



「高校生の部」2年連続受賞、今回初応募の「一般の部」で優秀賞を受賞した中田さん。受賞作品や制作方法についてお話をうかがいました。

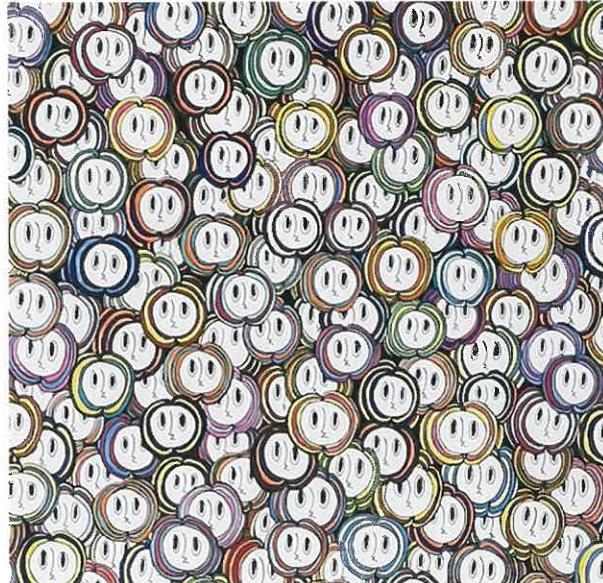
新進アーティスト作品展vol.15 Art Generation 2017
優秀賞受賞 2017.2.25 sat~3.5 sun

中田 真生

絵ではないもので表現すること、御香をたいして音楽(ノイズ・ジャズ・ヒップホップ)をきくこと、サンプリング、意外なものの組み合わせがおもしろいと思うこと、コーラージュ…等近いところにいて今は丁度いい感じです。

現在、興味のあること

興味のあることは果てしなく多く、そんな中でとにかく「描く」とが好き』という中田さん。これからどのように「進化」していくのか、とても楽しみです。



中田 真生 (なかだまさき)

静岡県富士市出身。
2015-16 新進アーティスト作品展 高校生の部 AG賞
2017 静岡産業大学在学中
2018-3 新進アーティスト作品展 vol.16 同時開催
「中田真生」作品展(予定)

◆新進アーティスト作品展…静岡県内の18~35歳を対象とする美術の公募展

SPECIAL INTERVIEW 残間里江子×石島章彦

今は東京在住ですが、

残間さんにとって富士市とは?

平成四年の創刊号で独自の切り口で文化会館への提言をしていただいた残間里江子さんに、創刊号から四年間、情報誌「ロゼ」の編集を手がけた石島章彦さんがお話を伺いました。

父が仙台での生活にピリオドを打つて新しい生活の場所に選んだのがたまたま富士市だったんですが、私にとっては中学高校と過ごした青春の地ですので、人生の中ですごく大事な位置づけですね。その時からの七人の親友、私を含めて八人組になりますけど、彼女たちとは終生永遠に親友だと思うし、生涯の友を得た特別な町ですね。今でも同窓会などでまた富士市に帰りますが感慨深いです。

二十五年という長い年月を経て再度情報誌ロゼに登場いただきますが、当時情報誌ロゼは結構見えていた「東京にいても頑張っている市町は結構見ていますが、富士市の文化レベルはどうに考えますか?

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

確かに競争する意識が弱い気がします。お店創刊号にて「東京にいても頑張っている市町は結構見ていますが、富士市の文化レベルはどうに考えますか?

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

確かに競争する意識が弱い気がします。お店創刊号にて「東京にいても頑張っている市町は結構見ていますが、富士市の文化レベルはどうに考えますか?

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

私は、中学の時に富士市に引越したのですが、引越してみて東北人と富士市民の性格の違いみたいなのがよくわかったんです。仙台は百万都市でしたから元々の文化が根付いていましたね。自然は厳しいし歴史的にも色々な苦境を経ているので、とても歴史的な街なんです。でも富士市は皆のんびりしていて、落ち着いた「みかんの花咲く丘」みたいだと思いましたね。富士市の人はすごく温和ですが、反面意地と根性がちょっと足りない気がします。

●プロフィール

残間里江子(プロデューサー)

仙台市生まれ。中学校1年の時に富士市に移住、静岡県立吉原高等学校卒業。アナンサー、編集者を経て、80年に企画制作会社「(株)キャンディット・コミュニケーションズ」を設立、出版、映像、文化イベントなどを多数企画・開催する。2017年にユニバーサル技能五輪国際大会の総合プロデューサーを務める。2009年には、日本に新しい大人をつくる会員制ネットワーク「クラブ・ラルビー」を設立。近著は「閉じる幸せ」(岩波新書)。

BS-TBS「Together」(毎月第1週土曜日 PM11:00~)
TBSラジオ「生島ヒロシのおはよう一直線」(毎週水曜 AM600~)
NHK第一放送「残間里江子わがままリテー」(祝日不定期 AM805~9:55)

石島章彦

1936年、神奈川県足柄上郡生まれ。小学校2年の時に富士市に移住。静岡県立吉原高等学校卒業。中央大学工学部卒業。1959年に大昭和製紙株式会社入社。技術部門に所属しながら、社内報編集、社員文化祭、体育祭、若手社員教育などを担当する。大昭和社史、創業者斉藤知一郎伝などの編集委員も歴任。1990年、大昭和製紙在職中に、開館前のロゼシアターの運用について市長直轄の諮問委員会委員に指名される。1992年、ロゼシアター建設準備室の嘱託事として企画・広報などを担当。季刊誌「ロゼ」を創刊。幼少の頃より絵画に傾倒し、現在は水彩画家として活動している。

静岡県水彩画協会会員および審査員、富士市美術協会会長、富士市文化連盟常任理事。



ありがとうございました。

撮影/石川俊明



富士市にも個人や法人が、ギャラリーや小さな多目的ホールのような発表の場を作つていいと思います、その数はまだ少ないので、どちらかで普段性を辿つて、主人公の内面に抱えている問題が自分とどこかで重なり合えれば、「あっ!」と感じるのが文化だと思います。

富士市はその部分が薄いとお考えに? 限られた人間のなかで、平均値よりも高い経済の中で過ごしていたのですから、当然といえば当然だと思います。屈折や立ちちはだから、壁があつてそれを乗り越えるとか、何とかして描いて潜るという所に新しい文化は生ずるところにも文化は生まれます。でも衝突や摩擦がないと文化は育ちにくいんです。



ロゼのオフ

情報誌ロゼのバックナンバーは創刊号からすべて、ロゼシアターホームページから閲覧する事が出来ます。
ロゼシアターホームページ
<http://rose-theatre.jp/>

情報誌ロゼを彩った個性的なアーティストのみなさん。その取材は、待ったなしのぶつけ本番で、思ぬアクシデントもありますが、それだけに誌面には載らなかつたステキなエピソードもいっぱい！今日は100号記念だから特別に、とつておきの「ココだけの話」を読者の皆様だけに。

忘れ物のスタッフに、悪魔の「神対応」

デーモン閣下（ミュージシャン・マルチタレント）

取材はほとんどの場合、決まっているのは、その日時と場所だけで、それがどんな場所なのか？広さは？壁の色は？衣装はどうだろう？ミュージシャンなら楽器は持ってくるのかな？そういった細かいことは、すべて現場に行ってみないとわかりません。ですからあらゆる想定をして、現場で慌てないように準備することが必要です。いつものことですが、取材前、スタッフは真剣な顔で、ミーティングをします。この日もそうでした。「マイクしてるのはかな？」でも素顔だったら読者は誰だか分んないですよ。」「あのさ、悪魔の方が素顔だからね。」「マイクしてのなら衣装もキメて来てくれるよね」「そりやそうだろ。あのマイクでスリッつてことはないでしよう。」云々…。

……で、取材本番、ちゃんとお馴染みの素顔（笑）、悪魔の衣装で来てくださいました。カメラに向かって吠えて」とかの無茶ぶりにも快く応じてくださいり、取材は無事終了。さて、このあとが「ココだけの話」です。取材班は一度退出したのですが、スタッフがバッグを忘れたことに気づいて現場へ戻ると、閣下はマネージャーさんと打ち合わせ中。



情報誌ロゼ vol.65 表紙より

「すみません。忘れ物しまして」と頭を下げると、あの声で「忘れ物には気をつけねばいかんな」とニヤリ…。どんな時にもデーモン閣下であることに徹する！さすがプロ！いや、さすが悪魔、ですね。

まさかの美女女優さんの送迎で…

山本みどりさん（女優）

富士市出身の清純派女優、山本みどりさんの取材は、山本さんが当時お住いの東京都町田市で行いました。待ち合わせの駅で待っていると、ロータリーを結構なスピードで走り込んできた一台の車。それを運転していたのがなんと山本みどりさんでした（笑）。

気さくで可愛らしくて、お綺麗で、本当に素敵な女優さん、取材中は終始明るい笑顔で対応してくださいました。当時彼女はおめでたで、もうお腹も大きかったのですが、我々を乗せて取材場所のカフェまで移動。

つまり彼女は、我々を駅まで迎えに来たださったのです。しかも取材終了後は再び駅まで我々を送ってくれます。恐れ多いことながら、厚意に甘えることに。美人女優のそれも身重の方に運転された取材班も取材班ですが、多分二度と出来ない経験、感謝感激です！



情報誌ロゼ vol.5 P7より

男役トップスターが生んだ、奇跡のワンショット！

湖月わたるさん（女優 元宝塚）

元宝塚歌劇団で星組トップスターの湖月さんの取材は、倉庫を改造した稽古場で行われました。

まあ何しろ倉庫ですから、壁は黒ペンキ塗りの波形鉄板で、あちこち四んてるし、結構資材などで雑然としているし、お世辞にもキレイとは言えない、とにかくカラジェンヌを撮る場所ではないことだけは確かです。さて困ったどうするか？そこは百戦錬磨の取材班、「ナンの！」と腕を捲る！あるうごと/oriental dancerは、その黒塗り凸凹ブリキ壁を、敢えて背景に選びました。なぜかというと、その日の湖月さんのファッショニンが、カーキ色のジャケット、黒のパンツ、黒のレザーブーツ…。

お美しい女性なのだけれど、なんともダンディ！女性にダンディというのもナンか変だけれどとにかく男前なのですよ。そのいでたちで、汚い壁の前で、スッとボーリングしたんだからこそ、ターマルブルックリンに出来た、まさに奇跡のワンショットでした。

ドラマ『ずっとあなたが好きだった』で冬彦さんを演じ、社会現象まで巻き起こして一躍有名俳優に。以降その卓抜した演技力と幅広さ、多才さで、俳優に留まらない活躍を続ける佐野史郎さんの取材のこと。

サブカルの大本からいただいた お詫びの（？）ひとこと

佐野史郎さん（俳優・声優・映画監督・ミュージシャン）

ドラマ『ずっとあなたが好きだった』で冬彦さんを演じ、社会現象まで巻き起こして一躍有名俳優に。以降その卓抜した演技力と幅広さ、多才さで、俳優に留まらない活躍を続ける佐野史郎さんの取材のこと。



情報誌ロゼ vol.69 表紙より

さあ、いや、さすが悪魔、ですね。

まさかの美人女優さんの送迎で…



情報誌ロゼ vol.48 P4より

2004(平成16)年1月～2000(平成12)年4月

●情報誌ロゼ
vol.31~46

ロゼ



history of contents

富士市在住のフルート奏者 茅原先生の音楽紀行シリーズ、楽器工房に取材し、楽器そのものだけでなく、作り手にも焦点を当てたルポ企画など、様々な切り口で文化、芸術の魅力を伝えました。公演アーティストインタビューは、若手ノール歌手として人気の錦織健さん、女優市原悦子さん、歌手 夏川りみさん、フジテレビの軽部真一アナ、バイオリニスト 高嶋ちさ子の『めざましクラシックス』コンビ、何度かロゼのステージに立っていただいているピアニスト 仲道郁代さん等でした。また、46号には今まで多くの若手アーティストを輩出している「新進アーティスト作品展」がスタートしたことを告げる記事が初めて掲載されました。「コンサートに行こう」と題したコンサート会場での聞きたいことQ&Aやマナー指南などを掲載した時代を感じさせる記事もありました。

2000(平成12)年1月～1994(平成6)年4月

●情報誌ロゼ
vol.7~30

ロゼ



history of contents

市民ミュージカルの第一回作品『名残りの小袖』関連の記事がこの時期掲載されました。丸茂湛祥理事長が脚本を担当した舞台です。現在に至るまで、市民を主役にしたこのプロジェクトは、脈々と力強く歴史を積み重ね、市民参加の文化事業として、大きな役割を果たすことになりました。今では定番となった、水落潔先生の歌舞伎レクチャーの記事もこの頃からあります。中学生招待コンサートリポートの記事を見ると、地元の若い世代に生の文化を届けようという試みがスタートし、これが後の学校訪問コンサートの企画に繋がっていました。公演者インタビュー記事は、俳優 渡辺徹さん、女優 木の実ナナさん、女優 白石加代子さん、物故されたハネケンこと、作曲家 羽田健太郎さん等。読者プレゼントにオリジナルレコードカードというのも時代ですね。

1993(平成5)年5月

●情報誌ロゼ
vol.3~6

ロゼ



history of contents

今も続いている企画で、公演をご覧のお客様に感想を伺う、「フラッシュバック」がスタートしています。最初の登場は、劇団俳優座のロゼ公演でトルストイの名作、『復活』のカチューシャを演じる超大物女優、栗原小卷さん。俳優座事務所での取材の際に感じた圧倒的な存在感を思い出します。

1993(平成5)年1月

●情報誌ロゼ
新春号 vol.2

ロゼ



history of contents

まるで海の底を思わせる静寂の空間に佇むバレエの少女。若い彼女の姿を生まれたばかりのロゼシアターに重ね合わせ、市民から喝采を浴びる場所でありたいという願いを込めたヴィジュアルでした。

1992(平成4)年8月

●情報誌ロゼ
創刊号 vol.1

ロゼ



history of contents

譜の上にバラの花をあしらったヴィジュアルの表紙で情報誌ロゼはスタートしました。そこにはこうあります。「文化的な開花をめざして…」その言葉の通り、オープンを待つ新しい会館で、どんな芸術が生まれるのか？そして市民の中にどんな文化が芽吹くのか？胎動の期待感にあふれる創刊号です。

P
a
s
s
a
g
e
創刊から100号まで、四半世紀の歩みをたどる
100
200

2004

●情報誌ロゼ
vol.31~46

ロゼ



history of contents

これまで、楽器をモチーフに表紙をデザインしてきた情報誌ロゼ、31号からは演奏者にも登場していただきました。しかも主として地元在住のアーティストの方々です。そして音楽アーティストの方々に代わって39号からの表紙を飾ったのは、日本舞踊、バレエ、ジャズダンス等、静から動へ誌面もアグレッシブな雰囲気に。そしてさらに能面づくり、生け花など、和の古典的な芸術家の方々が登場。情報誌ロゼの顔である表紙が、市民によって彩られ、地元のアーティスト活躍を広く知らしめる役割を果たすことになりました。

1993(平成5)年1月

●情報誌ロゼ
新春号 vol.2

ロゼ



history of contents

表紙に、季節感や館内の作品をモチーフにしたアートをデザイン・レイアウトした時期。シーラ・ヒックスの手による、ガレリア壁面の大窓のタペストリー(vol.5)や市民手作りのオーケストラ人形たち(vol.6)も表紙を飾りました。

1992(平成4)年8月

●情報誌ロゼ
創刊号 vol.1

ロゼ



history of contents

2号で今も続く、主演アーティストへのインタビューが始まっています。最初の登場は、劇団俳優座のロゼ公演でトルストイの名作、『復活』のカチューシャを演じる超大物女優、栗原小卷さん。俳優座事務所での取材の際に感じた圧倒的な存在感を思い出します。

70'sのヒットメーカーは川釣りの達人

伊勢正三さん(ミュージシャン)

周囲の空気を一変させた、マドンナ一人のオーラ!

賀来千香子さん(女優)

2005(平成17)年1月～2004(平成16)年3月

一九六四年の初演以来、これまで名だたる有名女優が、幾たびか四姉妹を演じてきた(二〇一七年の公演で、通算公演回数が「五〇〇回を超えるそうです)、谷崎文学の最高峰「細雪」の舞台が二〇〇九年秋、ロゼシアターにやつきました。その長女鶴子を演じる高橋恵子さんと、次女幸子を演じる賀来千香子さんの取材に、某テレビのキー局に伺いました。テレビに、映画にCMに、引張りだこのお二人を待つて、取材場所の局内スタジオで準備に入ろうとしたところ、「えつ！ここ！」というくらいの殺風景な空間。そこにお二方が掛けるためなのでしょう、椅子代わりにただの木製の箱(?)。

今を時めく人気の女優さんです。ホントにこれでいいの？？と突つ込みたくなるような状況に取材班は唖然：まあホリゾントとかもあるので、一応スタジオなのでしょうが、我々が想像していたのとはかなり違う。そこへ主役のお二人が到着。すると次の瞬間、空気は一変します。そのガラスクリーンとした殺風景な空間が花が咲いたように艶やかな雰囲気に包まれる。もう無味乾燥なスタジオも、粗末な木箱も何の関係もない。どんな環境でも自分の彩に染めてしまふ、圧倒的な存在感。そもそもお二人とも、このセッティングを少しも気にしていない様子。取材班にもにこやかにご挨拶くださる。よく言うでしょ、「オーラがある」って。まさにそのオーラが周囲の環境も、人間もすべて込み込んでしまうような、癒される瞬間でした。

ロゼのオフ

目は、珍しくロゼシアターで、公演前の時間をいただいての取材でした。青春時代「かぐや姫」にも「風」にも大きな影響を受けたスタッフは、もう取材前から緊張の極致！「これは貴重だよ」とにこやかにサインしてくださった通り、想像していた通りの穏やかなやさしいお人柄の正さんでした。さて取材が終了し、写真撮影のために会館の外へ。

雲り気味でかすかに見える富士山をバックに撮影。ご存知の方もおられるでしょうが、伊勢さんは知る人ぞ知る「ライフィッシング」の達人で、釣りのテレビ番組にも時々出演しておられます。沼津市の狩野川は彼のカーティスクリーク(人に教えたくない釣り場)なのだそうですが、実は何を隠そう、この取材時のカメラマンが、これまた三度の飯より釣りが好きで、フリーペーパーなどに、コラムを連載してたりする人なのです。

二人はあつという間に意気投合。「富士川の穴場とか知ってる？」正やんの問いに「よく知りますよ。自分もしようちゅう行くし。案内しましようか？」とカメラマン。「ああ、いいね。是非！」かくて正やんとカメラマンは、携帯の番号を交換したのでした。果たしてこのあと、二人は富士川に出掛けたので、釣りやつければ良かった…残念。



情報誌ロゼ vol.50 P4より



情報誌ロゼ vol.48 表紙より

2017(平成29)年6月～2005(平成17)年3月

●情報誌ロゼ vol.51～100



history of contents

現在100号を迎えた情報誌は、この段階で、連載中のコンテンツ等ある程度独自のカタチを成したと言えそうです。20周年記念号である85号を挾んで、キラ星のような公演アーティストが並ぶ巻頭グラビアはそのラインナップを見るだけで壮観です。そして、この時、後に情報誌ロゼが最も不倒の連載となる企画「カルタハカタル」がスタートしました。ロゼシアター東側の「潤井川かるたの小道」にある100枚の百人一首の石板を毎回一首づつ訪ねながら、一見何気無さそうで、ここにピントを合わせた印象の写真と共に、古に想いを馳せる…どこか時空を旅するような、不思議な感覚のコラムです。そしてこれも現在連載中のロングラン上演されるクラシックコンサートの背景や発祥の歴史をわかりやすくレクチャーする、文筆家文化芸術プロデューサーの浦久俊彦氏の手による「ロゼクラシックカワフ」もこの時期から、51号から後は、この流れが続いている現在に至ります。

ここから先はこれから話です。200号はどんな情報誌ロゼなのでしょう？そしてその時、富士市はどんな街になり、ロゼシアターはどうな存在になっているのでしょうか？何かワクワクする思いです。200号記念特集号でも、再びお会いできることを、心から楽しみにしております。

2005(平成17)年1月～2004(平成16)年3月

●情報誌ロゼ vol.47～50



history of contents

公演者の取材記事を巻頭グラビアに掲載する、現在のスタイルがここから始まりました。最初は俳優シンガーソングライター演出家美輪明宏さん、豪奢なご自宅にお邪魔しての取材でした。俳優佐野史郎さん、シンガーソングライター伊勢正三さんなど個性派がそろい踏み。普段は記事に乘らないバックステージ情報をお届けする「The舞台裏」、主催事業をわかりやすく案内して現在も連載中のガイド「イベントカレンダー」、今注目の逸材を毎回取り上げる「ピックアップアーティスト」は現在も連載中。またステージ以外のロゼの魅力にスポットを当てる小コーナーをスタート。これはのちに「ロゼの片隅」に発展するなど、この47号をもって情報誌ロゼは、16ページに拡大、新たな境地に積極的に取り組み、現在のスタイルを確立しつつありました。

文化情報誌「ロゼ」100号を記念して

公益財団法人富士市文化振興財団 理事長 丸 茂 湛 祥

ロゼシアターは、開館以来二十三年が経過しました。公益財団法人富士市文化振興財団は、富士市より指定管理者として指名され、当館の管理運営を任せられております。これまでの来館者は既に一千万人を超えており、近年は、年間来館者四十五万人を目指しております。

富士市は、平成二十五年に「富士市文化振興計画」を策定し、文化振興への指針を明文化しました。それは、「心豊かな人を育てる文化のまち」を目指し、文化・芸術に触れ発表できる機会を多く持てるようにして、それを担う人材育成をすべきとの内容でした。この中心理念は、富士市文化振興財団が当初より目指したものであります。

富士市の文化芸術活動の中心、「ロゼシアター」は、富士市の花「バラ」に因んで名付けられ、平成五年十一月に開館しました。そして、それに先立つこと一年二ヶ月前、文化情報誌「ロゼ」が創刊されました。

これまでの「ロゼ」は、富士市の花「バラ」に因んで名付けられ、平成五年十一月に開館しました。そして、それに先立つこと一年二ヶ月前、文化情報誌「ロゼ」が創刊されました。

これまでの「ロゼ」は、富士市の花「バラ」に因んで名付けられ、平成五年十一月に開館しました。そして、それに先立つこと一年二ヶ月前、文化情報誌「ロゼ」が創刊されました。

創刊号では、建築中の「ロゼシアター」の紹介、当時の吉原市民会館や富士文化センターで行われるプレイイベント、市内の芸術活動などが紹介されました。

創刊号では、建築中の「ロゼシアター」の紹介、当時の吉原市民会館や富士文化センターで行われるプレイイベント、市内の芸術活動などが紹介されました。

創刊号では、建築中の「ロゼシアター」の紹介、当時の吉原市民会館や富士文化センターで行われるプレイイベント、市内の芸術活動などが紹介されました。

創刊号では、メディアプロデューサーの残間



丸茂 湛祥(まるも たんじょう)

日本画家、僧侶、保育園長、元県立高校教諭、元大学講師。

京都大学在学中に日本画を学び数々の賞を受賞。

新興美術院常任理事、審査員。新興美術院出品作品「中空構造」が文部大臣奨励賞を受賞。市民文芸賞、県民文芸芸術祭賞、富士市文化奨励賞、教育文化功労章を受賞。公益財団法人富士市文化振興財団理事長。

演の解説などをビジュアルにまとめるなど、号を重ねるごとに洗練された

日々も「ロゼシアター」の実りある運営の解説などをビジュアルにまとめるなど、号を重ねるごとに洗練された

けて有り難いと思います。



情報誌ロゼ vol.1より

丸茂 湛祥(まるも たんじょう)

日本画家、僧侶、保育園長、元県立高校教諭、元大学講師。

京都大学在学中に日本画を学び数々の賞を受賞。

新興美術院常任理事、審査員。新興美術院出品作品「中空構造」が文部大臣奨励賞を受賞。市民文芸賞、県民文芸芸術祭賞、富士市文化奨励賞、教育文化功労章を受賞。公益財団法人富士市文化振興財団理事長。

演の解説などをビジュアルにまとめるなど、号を重ねるごとに洗練された

日々も「ロゼシアター」の実りある運営の解説などをビジュアルにまとめるなど、号を重ねるごとに洗練された

けて有り難いと思います。

EVENT CALENDAR 2017

8 AUGUST

8/26 土曜日 **ロゼこどもコンサート**
協力／富士クラシック協会
中ホール
1回目 開場／9:30 開演／10:00
2回目 開場／12:30 開演／13:00
※各回とも10歳から入場可。
入場料(全席指定)／均一／500円
※3歳以上有料。
2歳以下は保護者1名につき1名までひざ上鑑賞無料。
チケット発売中

【出演】
藤田貴子(声楽)
川島祐子(フルート)
渡部翔子(クラリネット)
望月愛見(ホルン)
渡邊幸成(トランペット)
和田香織(マリンバ)
渡邊浩代(ピアノ)
松本友美子(ピアノ)
中村由実子(司会)
音楽監督／中村史子

【プログラム】
♪トドレミの歌
♪剣の舞
♪カルメン間奏曲
♪熊蜂の飛行
♪私のお父さん
♪動物の謝肉祭より「化石」「白鳥」「終曲」
♪トリミックコーナー「線路は続くよどこまでも」「幸せなら手をたたこう」他
♪絵本の読み聞かせ「ちょっとだけ」
♪にじ
♪ラデツキー行進曲 他
※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。



9 SEPTEMBER

チケット発売日 **シルク・ドゥ・ソノニ**
管弦楽／キエフ国立フィルハーモニー管弦楽団
木曜日 web
大ホール
公演日／1月20日(土)
開場／17:30 開演／18:00
入場料(全席指定・税込)
S席／8,000円
A席／6,000円
学生／3,000円
※未就学児入場不可
【口】46013



9/7 木曜日 **チケット発売日**
9/8 金曜日

【プログラム】
♪チャイコフスキー「白鳥の湖」
♪ヨハン・シュトラウス「美しく青きドナウ」
♪ビゼー「カルメン組曲」
♪ハチャトゥリアン「仮面舞踏会」組曲
♪オッフェンバック「天国と地獄」
♪シベリウス「フィンランディア」
♪ワルトイツヘル「スケーターズワルツ」
♪アブレウ「ティコティコ」他
※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

9/10 日曜日 **ふじ寄席 林家たい平の家族で楽しむ落語会2**
出演：林家たい平(落語)
のだゆき(音楽パフォーマンス)
中ホール 開場／10:30 開演／11:00
入場料(全席指定・税込)
一般／2,500円 学生／1,000円
4歳以上入場可(有料)
チケット発売日/
Web 6月22日(木) 窓口 6月23日(金)
【口】43687



9/18 月曜日 **劇団四季ミュージカル「アンデルセン」**
大ホール 開場／17:30 開演／18:00
入場料(全席指定・税込)
S席／8,640円(S席学生／6,480円)
A席／6,480円(A席学生／4,320円)
B席／3,240円
※3歳以上有料、2歳以下の子様は入場不可
チケット発売日/
Web 6月24日(土) 窓口 6月26日(月)
【口】46010



*ロゼシアター主催公演のチケット購入方法については18ページをご覧下さい。
※表示価格は全て消費税が含まれております。

8 AUGUST

8/3 木曜日 **ロゼこどもサマーフェスティバル スタンプラリー**
4階会議室ほか
10:00～14:00(スタート13:30まで)
参加費無料
協力／富士芸術村、富士子ども劇場、
富士・子どもの本を学ぶ連絡会、
富士ミューズフルートアンサンブル、
フラワーセラピー研究会・富士、
ガルスカウト富士地区連絡協議会
ヒップホップアーティストクラブ



8/4 金曜日 **夏休みこどもアート展**
期間／8月4日(金)～8月13日(日)
1階ガラリー

8/6 日曜日 **ロゼピアノコンクール 第20回記念入賞者演奏会**
中ホール
開場／13:00 開演／13:30
入場料(全席自由・税込)
均一／1,000円 ※未就学児入場不可
チケット発売中



8/7 月曜日 **ロゼこどもサマーフェスティバル ホール探検隊**
大ホール
7日(月) 14:00～
8日(火) 10:00～、14:00～ 各100分
各回定員20名
参加費無料(要予約)
対象／小学生とその保護者
受付／7月14日(金) 10:00より電話受付
TEL／0545-60-2500



8/19 土曜日 **ロゼこどもサマーフェスティバル トレンインフェスタ**
協力／フジレールクラブ・静岡県立
オール富士さん!・西伊豆工芸
923ネットワーク・富士市民
8/20 日曜日 展示室
吉原工業高等学校模型部
岳南電車(株)
岳鉄イカシ隊
19日(土) 12:00～17:00
20日(日) 10:00～16:00
入場無料



8/25 金曜日 **整理券配布開始日 THE MUSICAL TIME 2017**
中ホール
公演日／10月29日(日)
1回目／開場／10:30
2回目／開場／14:30
入場無料(要整理券)
※3歳以下の子様の入場はご遠慮ください。
第1部 Song & Dance
♪『美女と野獣』より
「美女と野獣」「Be Our Guest」
♪『ウィキッド』より「エメラルドシティ」
♪『ロミオとジュリエット』より
「エス」「世界の王」
第2部 ミュージカル
「おでかけミュージカルナンバー」
「Birthday」
「カル」で好評を博した、
この名曲とオリジナルストーリーで綴る感動の物語。



7 JULY

7/6 木曜日 **チケット発売日** **ミッドナイト・イン・パリ**
web
大ホール
公演日／10月3日(火)
開場／18:30 開演／19:00
入場料(全席指定・税込)
1階席／7,000円
2階席／6,000円 ※未就学児入場不可
【口】46014

岡田恵和 深川栄洋 坂野清子
ご当地ドン・カーネーションの自己紹介
ミッドナイト・イン・パリ



7/7 金曜日 **「おかあさんといっしょ ガラピコ♪がやってきた!!」**
大ホール
1回目／開場／13:00 開演／13:30
2回目／開場／15:30 開演／16:00
入場料(全席指定・税込)
均一／2,500円 ※1歳以上チケット必要。
【口】46039

7/12 水曜日 **チケット発売日** **さだまさし コンサートツアー2017 恵百福(たくさんのしあわせ)**
web
大ホール
公演日／10月10日(火)
開場／17:30 開演／18:00
入場料(全席指定)
全席指定／8,640円 車椅子席／8,640円
※未就学児入場不可
【口】43029



7/26 水曜日 **松竹大歌舞伎**

中ホール
昼の部／開場／12:30 開演／13:00
夜の部／開場／17:00 開演／17:30
入場料(全席指定・税込)
1階席／6,000円 2階席／5,000円
学生／1,000円 ※未就学児入場不可
【口】45596

演目
一、猩々々々々々々々々々々々
二、口々々々々々々々々々々々
三、一谷嫩軍記 熊谷陣屋
長唄囃子連中
幕幕幕幕幕幕幕幕幕幕幕幕
中村梅玉
なからららのすり
なかららはしのすり
中村福之助 中村賛助
なからららのすり
なかららはしのすり
中村芝翫

7/27 木曜日 **チケット発売日** **前橋汀子 ヴァイオリン・リサイタル**

web
小ホール
公演日／11月24日(金)
開場／18:30 開演／19:00
入場料(全席指定・税込)
一般／4,200円 ベア券／7,800円(前売りのみ)
学生／1,000円 ※未就学児入場不可
【口】46012



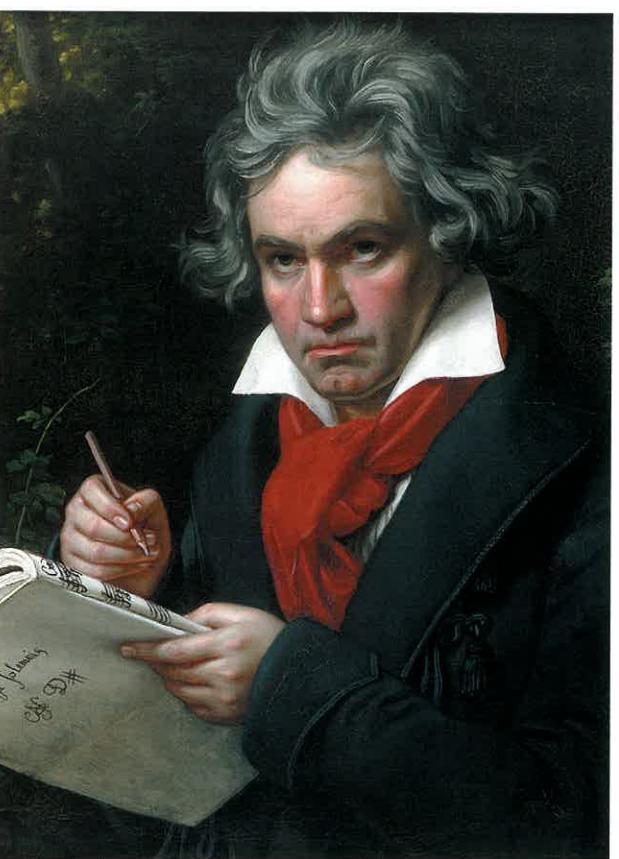
【プログラム】
♪エルガー「愛の挨拶」
♪ベートーヴェン／ヴァイオリン・ソナタ 第9番
「イターノ」 op.47「クロイツェル」
♪マスネ／タイスの瞑想曲
♪サラサーテ／ツイゴイネルワイゼン 他
※曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

ロゼクラシックカフェ

第17回 楽聖ベートーヴェンも愛した甘いワインの秘密 素顔の大作曲家たち

祝！情報誌ロゼ100号！

今回は、それを記念して、かつてオーストリア帝国を統治したハプスブルク家で珍重され、「幻の黄金のワイン」と呼ばれたワインの物語です。このワインは、渋い顔をした肖像画のベートーヴェン（写真・1）もメロメロ！？かの楽聖がこよなく愛した甘いワインの秘密とは？



（写真・1）ベートーヴェンの肖像

**意外にグルメ？
ベートーヴェンの仰天グルメエピソード**

破天荒な巨匠といわれただけあって、ベートーヴェンとグルメには、びっくりエピソードが満載！たとえば、卵料理が大好きで、怒ると召使いに腐った卵を投げつけたとか、珈琲が大好物で、毎朝コーヒー豆をきつかり60粒数えて自分で煎つて飲んだとか、ネタは尽きません。なかでも、きわめつけは、迷（？）コックベートーヴェンのエピソードでしょう。自慢の料理の腕を友人たちに振る舞うとかいて、自分で台所に立ったものの、彼が作った料理を食べた客は、あまりにもまずくて腹を下したそうです。ところが、ベートーヴェン本人は、うまいうまいといって、むしやむしや食べていたとか。

ベートーヴェンのワイン好きは先祖の遺伝？

じつは、ベートーヴェンの母マリア・マグダlenaケーベリヒの実家は、ワインの醸造所でした。ドイツ、モーゼルのゲシュヴィスター・ケーベリヒ醸造所では、マリアの末裔がいまでもワインを造っていて、このワインは、「ベートーヴェン・ワイン」（写真・2）として販売されています。



（写真・2）ベートーヴェン・ワイン

奇跡のワイントカイ・ワインの故郷と誕生の秘密

トカイは、ハンガリーの地名。ふたつの川が合流するトカイ地方（写真・3）は、秋から冬にかけての朝に濃い霧が発生し、この霧は丘の上に昇り、やがてブドウ畠全体を包み込みます。そして霧による湿気によって、貴腐菌というカビに侵された白ブドウが作



（写真・3）ハンガリー・トカイ地方

り出されるのです。貴腐菌は水分を外に出し、糖分を濃縮させることで、とても甘いブドウになります。トカイ・ワインは、そのトカイ地方独特の気候のなかから生まれ出される、特別なワインなのです。ではなぜ奇跡のワインと呼ばれたのでしょうか？ときは、十七世紀。オスマン・トルコ帝国の侵略を受けたトカイ地方の住民たちが避難先から村に戻ってみると、収穫期を過ぎてしまつたブドウの樹に、霧によつて収穫されずに残つた實にカビがつき、腐り始めました。住民たちは諦めきれず、そのブドウ（写真・4）でワインを作りました。すると、濃厚で甘い蜜のようなワインが出来上がつたのです。これが、トカイ・ワイン誕生にまつわる秘密として伝えられているエピソードのひとつです。



（写真・4）貴腐ブドウ

ベートーヴェンの死因とワインの関係？

トカイワイン（写真・5）は、オーストリア・ハンガリー帝国を統治したハプスブルク家にゆかりの深いワインでもあります。ハプスブルク家の食卓でも非常に珍重され、そのあまりに美しい黄金色の輝きに、女帝マリア・テレジアは本物の金が含まれているのではないかと調べさせたほどだったそうです。フランス国王ルイ14世は、トカイ・ワインを讃えて、「これぞ王のワイン、これぞワインの王」といったとか。そして、ベートーヴェンを支援した有力貴族の多くがハンガリー貴族だつたこともあり、ベートーヴェンにどうでも、このハンガリー特産のトカイ・ワインは、特別な憧れのワインだったのです。

これぞ王のワイン、これぞワインの王



（写真・6）ベートーヴェンの毛髪（ワイン楽友協会所蔵）

参考文献

- Dictionnaire Encyclopédique de la Musique, Université d'Oxford/Robert Laffont
- ベートーヴェン（上・下）メイナード・ソロモン著 徳丸吉彦 勝村仁子訳 岩波書店
- ベートーヴェンの思い出 G・プロイニング著 小柳達男・篤子訳 音楽之友社
- 現代医学のみた大作曲家の生と死 ベートーヴェン シューベルト
- アント・ノイマイヤー著 村田千尋訳 東京書籍
- ワインの国ハンガリーへトカイを巡りて
- ロハイ・ガーボルほか著 澤辺小友美ほか訳 美術出版社

●プロフィール 浦久俊彦

文筆家・文化芸術プロデューサー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に音楽を中心に、幅広く文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、浦久俊彦事務所を設立。多彩な分野のアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、一般財団法人欧州日本藝術財團代表理事、公益財団法人日仏会館文化事業委員として、日本とヨーロッパの文化芸術交流にも力を注いでいる。著書に『フランス・リストはなぜ女たちを失神させたのか』（新潮社）、『138億年の音楽史』（講談社）がある。

Information from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

ロゼシアター主催公演のチケット購入方法

●ロゼフレンドシップのご案内

ロゼシアター主催公演のチケットをご購入・ご予約の際は「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

ロゼシアターのホームページや、窓口からご登録いただけます。事前に登録していただきますと、購入手続きがスムーズに行えます。ご理解とご協力の程お願いいたします。
お問合せ先 TEL.0575-60-2500 ※お問合せは9時~22時となります。

●ロゼシアターのホームページ

またはモバイルサイトからご予約いただけます。

代金のお支払いとチケットの引き取りについて
代金のお支払い方法は、2種類あります。お引き方法は、選択されたお支払い方法によって異なります。

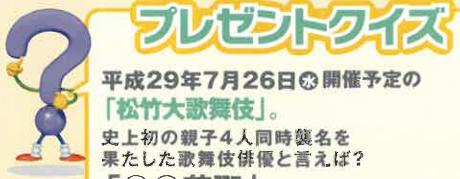
◆クレジット・カードお支払い: 窓口またはセブン・イレブン店頭にてお引き取り
◆セブン・イレブンお支払い: セブン・イレブン店頭にてお引き取り

●ロゼシアターで直接購入

(チケット取扱時間: 休館日以外の9時~20時。ただし発売初日は10時~20時)
会館1階エレベーター横の会員事務所にて、現金でご購入。

●プレイガイドで購入

ローソンチケット TEL.0570-084-004 (各公演指定のLコードが必要です。)
※お電話でのご購入はこちらをご利用下さい。



プレゼントクイズ

平成29年7月26日㈯開催予定の
「松竹大歌舞伎」。

史上初の親子4人同時襲名を
果たした歌舞伎俳優と言えば?
「○○芝翫」

プレゼント1 松竹大歌舞伎
平成29年7月26日(水) 開演17:30
公演チケット 2組4名様

プレゼント2 レストラン「ROSE TERRACE(ロゼテラス)」
御招待券 1組2名様分(4,000円相当)

【応募方法】官製はがき・私製はがきに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、クイズの答え、希望するプレゼント名、本誌に対するご意見・ご感想をご記入のうえ、郵送にてお申し込みください。(平成29年7月4日消印有効)なお、当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

<郵送先>〒416-0953 富士市蓼原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ第100号」プレゼント係

*ご応募はお一人様一度までとさせていただきます。
二通以上ご応募の場合は、全て無効とさせていただきます。

ロゼシアター休館日のお知らせ

- 7月3日㈪～7月4日㈫
- 8月21日㈪～8月24日㈭
- 9月4日㈪

ロゼシアターホームページで情報を!! <http://rose-theatre.jp> ◇公演情報 ◇施設の空き状況 ◇交通情報など

編集後記

年に4回発行するこの情報誌ロゼも、いよいよ100号を迎えるました。創刊号はもう今から25年近く前のこと。誌面もあらゆる部分で当時は変化していますが、アーティストや公演情報を通じて、読者の皆様に文化芸術の魅力を伝えていくというこの情報誌の根っここの部分は変わらずにいられたように思います。これからも皆様のご期待に応えられるような情報誌をお届けできるよう努力いたします。(K)



flash

平成29年2月 ▶ 平成29年4月

ロゼ・クラシックカフェコンサート ヤノシュ・オレイニチャクピアノリサイタル

平成29年 2月3日㈮ 小ホール

- 繊細で大胆な流れるような美しい演奏に魅了されました。ショパンの音色の素晴らしさを再認識しました。 30歳代・女性
- なんと慈悲深い音色なのか。心に深く染み入りました。優しく、ときには悲しく、深く。彼の人生がそのまま投影されているように感じました。 40歳代・男性
- ヤノシュさん、田舎の町へようこそお来くださいました。CD等で聞くショパンとは随分違って、生の迫力ある演奏をありがとうございました。 70歳代・男性



BACK

ロゼシアター主催事業をお客様のアンケートをもとに
フラッシュバックしてみました。

富士市創立50周年記念
宝くじまちの音楽会 岡村孝子&あみん~未来へのメッセージ~

平成29年 2月26日㈰ 大ホール

- 35年ぶりの「待つわ」を聞いて大感激一コースとのコラボよかったです。夢を諦めないで最高!! 60歳代・女性
- あみんのふたりのデュオを久しぶりに聴いて感激しました。岡村孝子のパラードナンバーも涙ぐみ感動しました。 50歳代・女性
- 今まで行ったコンサートの中でも、特にリラックスして落ち着いた雰囲気で楽曲が聴けたのは大変良かった。あたたかいコンサート、本当にありがとうございました。 50歳代・男性



おでかけクラシック

平成29年 3月3日㈮ 特別養護老人ホーム風の杜、共立蒲原総合病院



新進アーティスト作品展vol.15 Art Generation2017

平成29年 2月25日㈯～3月5日㈰ 展示室

- 私自身絵を描いたり、物を作ったりするのが好きなので、皆さんの作品を見て創作意欲がわきました。ありがとうございました。 20歳代・女性
- とても元気を頂きました。新進アーティストは特別な思いで観ることができます。来年も楽しんでおりたいです。 40歳代・女性
- 若い人のエネルギーを感じられてパワーをいただきました。作品を創るということは大変なと思います。今後も若い人の支援を続けてください! 60歳代・女性



おでかけミュージカル 「涙色のキャンディ」

平成29年 3月25日㈯ 松野まちづくりセンター

3月26日㈰ 藩岡まちづくりセンター

- なぜか分からないけどはじめから涙がでてしまいました。とても素敵な話でした。やっぱりおでかけミュージカルのあたたかい雰囲気とも好きです! 高校生・女子
- 良かったです。涙が出てきました。一生懸命が良かったです。今後も頑張ってください。ほっこりした気持ちがもてて良かったです。 60歳代・女性
- とても楽しめました。近くで観ることでキャストの表情を観ることができました。私もミュージカル出演をしてみたいと思いました。 中学生・女子



新人音楽家による演奏会2017

平成29年 3月9日㈭ 小ホール

- みなさんとても素晴らしい演奏でした。いろいろなジャンルの楽器等で楽しめていただきました。それがよくて楽しく聴かせていただきました。 60歳代・女性
- 将来の活躍が楽しみな音楽家の演奏を聴くことができてよかったです。定期的な開催を楽しみにしています。 50歳代・女性
- 地元出身でこんなに活躍している音楽家の方がいるのを知らなかったので、演奏を聴けてよかったです。素晴らしいかったです。 高校生・女子



ロゼこどもスプリングコンサート

平成29年 4月8日㈯ 中ホール

- 価格も丁度よく参加しやすく楽しく音楽を聴かせていただきました。こうしたコンサートがこれからもたくさん開催されるといいです。 30歳代・女性
- このコンサートは我が家毎年の楽しみになっています。このように子供も楽しめるコンサートありがとうございます。 40歳代・女性
- 素敵なコンサートをありがとうございました。是非また来たいと思います。授乳室もあって、妻も助かったみたいでした。 30歳代・男性

